

関西広域連合 就農ガイド

関西広域連合の域内では、それぞれの自然・社会環境に応じた農業が展開され、その生産物は多様性に富んでおり、京都・大阪を中心に育まれた歴史と伝統ある食文化とともに発展してきました。

この「就農ガイド」では、関西広域連合域内で実施されている就農相談会の開催情報や就農研修制度、補助事業の概要などの就農支援情報を集約しました。関西での就農を目指している皆さんの「道しるべ」としてご活用いただければ幸いです。

目 次

滋賀県	1
京都府	3
大阪府	5
兵庫県	7
奈良県	9
和歌山県	11
鳥取県	13
徳島県	15
京都市	17
神戸市	19
堺市	21

Pick up !!

最新情報は

「[関西広域連合 就農促進サイト](#)」

をご覧ください。

▶ 検索ワードはこちら！

関西 就農

検索

▶ QRコードからアクセス



令和8年度
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 就農促進課

滋賀県

滋賀県農政水産部
みらいの農業振興課

〒520-8577

滋賀県大津市京町4-1-1

☎077-528-3845(直通)

滋賀県は、日本一大きな湖“琵琶湖”をはじめとする豊かな自然に、大都市からの交通アクセスに優れた「ほどほど田舎 ほどほど都会」の暮らしぶりが魅力です。

農業では、「近江米」や「近江牛」に加え、都市近郊の立地を生かした野菜栽培など、多様な農業経営が行われています。

滋賀県では、関係機関が一体となり、就農に向けた相談、農業体験、先輩就農者との交流、技術習得、就農後の定着支援等、様々なメニューを用意し、就農希望の皆さんをお待ちしています！

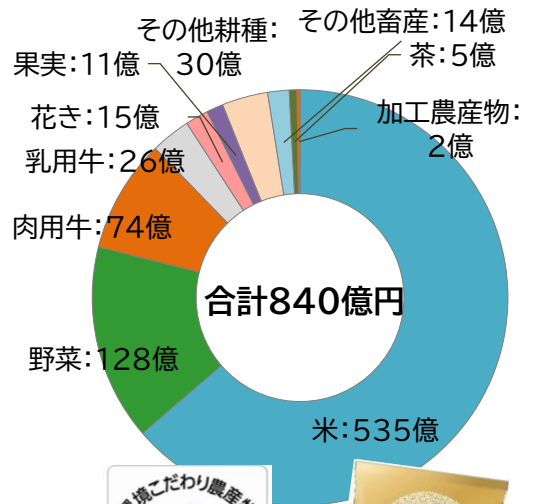


◆滋賀県の農業

滋賀県では、琵琶湖をはじめとする豊かな自然の恵みを受け、近江米をはじめ、麦や大豆、野菜、果樹、茶など多彩な農産物が生産されているとともに、近江牛をはじめ、乳用牛や養鶏等、高品質な畜産物が生産されています。また、琵琶湖の水質問題をきっかけに全国でもいち早く環境配慮型農業に取り組む、化学合成農薬や化学肥料の使用量を慣行の5割以下に削減する**環境こだわり農業**への取組が進んでいます。

このような、環境と調和した農業生産への取組の積み重ねにより、琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業「**森・里・湖(うみ)**」に育まれる**漁業と農業が織りなす琵琶湖システム**が世界農業遺産に認定されるなど、滋賀県産の農畜産物への県内外からの評価が高まっています。

農業産出額(令和6年度)



◆先輩就農者の状況

新規就農者では、イチゴやトマトといった施設野菜での自営就農や、米等を生産する農業法人へ就職就農される事例が多く見られます。

①就農者数 令和6年度 78名(うち女性15名)

【内訳】 ・50歳未満69名、50歳以上9名

・自営就農者31名、就職就農者47名

②品目(上位3つ) 自営就農者:野菜17名、果樹9名、米8名

就職就農者:米28名、野菜10名、茶3名



滋賀県初のいちご
オリジナル品種「みおしずく」

◆就農関連イベント・相談窓口

①就農イベント・農業体験など

※予定が決まり次第、県や滋賀県農林漁業担い手育成基金のHPでお知らせします。

内容	日時・内容	場所
しがの農林水産業 就業相談フェア	年1回(2月頃予定) 就職就農に関心のある方等を対象に、農業法人等に就職した先輩農業者の体験談紹介や農業法人等との個別相談ブースを設けています。	大津市
就農準備講座	年2回(7月、1月頃予定) 自営就農に関心のある方等を対象に、農地や技術、資金の確保、認定新規就農者制度など、就農に必要な基礎知識を説明します。	大津市ほか
農業体験(体験期間1~2日)	申込:1月末まで	県内

下記機関において、就農相談員による面談、電話、メール等による相談を年間を通じて受け付けています。詳しくは基金HPをご覧ください。

名称	住所	電話番号
(公財)滋賀県農林漁業担い手育成基金	大津市松本1丁目2番20号	077-523-5505

※就農予定地が決まっている方等には、県の農業農村振興事務所農産普及課において、就農相談を受け付けています。

◆農業大学校における研修

滋賀県立農業大学校に「養成科」と「就農科」を設置しています。

「養成科」は、修業年限2年で、高度な専門知識と技術・経営能力を持つ農業者を育成します。「就農科」は県内で就農を目指す方々を対象に、1年間の実践的な農場実習や講義を行います。

名称	住所	電話番号
滋賀県立農業大学校	滋賀県近江八幡市安土町大中503番地	0748-46-2551

農業大学校HPアドレス <https://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/daigakkou/about/>

◆補助事業の概要

就農準備資金、経営開始資金、雇用就農資金および青年等就農資金等の事業を活用できません。就農準備資金に関しては滋賀県農林漁業担い手育成基金、経営開始資金については就農する市町が交付主体になります。

【お問い合わせ先】

滋賀県農政水産部みらいの農業振興課地域農業戦略室 ☎ 077-528-3845
(公財)滋賀県農林漁業担い手育成基金 ☎ 077-523-5505

京都府

京都府農林水産部
経営支援・担い手育成課



〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
☎075-414-4942(直通)

京都府は、長い歴史に育まれた伝統、文化が脈々と受け継がれ、観光業、製造業、サービス業など多様な産業に恵まれています。農業においても、他にまねのできない京都ならではの競争力のある農産物づくりが可能です。

京都府では、京都農人材育成センターが就農から地域への定着に加え、経営の段階に応じた研修を行い、きめ細やかな就農・就業支援をいたします。



◆ 京都府の農業

農地の約80%を水田が占め、稲作が中心となっています。一方で、京のブランド産品に代表される野菜づくり（九条ねぎ、京みず菜、万願寺甘とう等）にも力を入れており、府内農業産出額の割合は野菜が米を上回っています。

【地域ごとの特色】

○丹後地域

米づくりが盛んな地域ですが、大規模な畑地もあり、野菜や果樹、茶などの産地づくりが進められています。

○中丹地域

ほ場整備がほぼ完了し、由良川沿いを中心に米づくりが盛んな地域です。万願寺甘とうなどの栽培も盛んです。

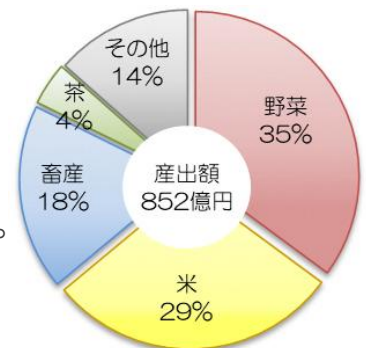
○南丹地域

米づくりを中心に、小豆・黒大豆などのほか、ブランド京野菜や枝豆の栽培も盛んです。

○京都市、山城地域

野菜や花、茶が多く作られています。消費地に近いため、農産物直売所での販売等に取り組むグループもたくさんあります。

京都府農業算出額の構成



令和6年 生産農業所得統計から

◆ 先輩就農者の状況

- ①就農者数 令和6年度 新規131名（うち新規参入119名）
- ②品目 京野菜を中心とする施設園芸が主流です。
- ③地域活動 地域の担い手として、様々な活動での活躍を期待されています。
- ④農地取得 農地中間管理機構が、農地取得をサポートしています。また、農業経営チャレンジ支援事業（裏面参照）では、研修農地をそのまま活用して就農することができます。

◆ 就農相談

○ 農林水産業ジョブカフェでは、専門の相談員が常駐し、農業を始めたい方や田舎暮らしのために農村へ移住を考えている方への情報提供や相談に対応しています。※ 午前9時から正午・午後1時から午後4時（日、祝日を除く）。要事前予約。

○ 令和8年度 開催・参加予定の就農相談イベント一覧

名称	日時（開催場所）
マイナビ農林水産FEST	7/5（ウインクあいち）、7/25、9/5（マイドームおおさか）
新規就農セミナー・現地見学会	年4回（開催日・場所未定）

◆ 就農研修制度等

研修名	内容	場所	受講料
プレインターンシップ研修	1～3日間で作業の流れや機械の扱い方について、農家からレクチャーを受けます。	受入先農家	無料
インターンシップ研修	1～6か月の実地研修を通じ、農業に必要な知識、技能を習得します。	受入先農家	短期雇用形態による研修
農業経営チャレンジ支援事業	集落タイプ 研修農地や指導者を設置し、研修修了後、研修農地を基盤に農業経営を開始するまでを支援します。（研修期間 最大2年間）	京都府内（北・中部中心）	無料（種苗費・肥料費等は自費）
	法人タイプ ベンチャーマインドをもって先進的な農業経営にチャレンジする若い経営者の育成を支援します。（研修期間 最大2年間）		
就農ステップイン講座	講義や野菜栽培の実習、就農者との座談会を通じて、栽培技術や農業機械の操作方法等を学びます。	農業大学校（綾部市）	未定
宇治茶実践型学舎	2年間で宇治茶の生産技術を学びます。	茶業研究所（宇治市）、宇治茶生産法人	118,800円/年間
畜産酪農体験	酪農の仕事体験ができます。（随時開催）	畜産センター（綾部市）	無料
畜産人材育成研修制度	酪農・肉用牛・養鶏における就業や就農を目指す人材を育成します。（研修期間 最大2年間）	畜産センター（綾部市）、府内の畜産農家	118,800円/年間（研修期間による）

【お問い合わせ先】

農林水産業ジョブカフェ ☎075-682-1800
 （京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階）

農林水産業ジョブカフェ

検索

（一社）京都府農業会議 ☎075-417-6847
 （京都市上京区丁子風呂町104-2）
 京都府経営支援・担い手育成課 ☎075-414-4942
 畜産課 ☎075-414-4983



QRコード

大阪府

大阪府環境農林水産部
農政室推進課経営強化グループ

〒559-8555

大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16

大阪府咲洲庁舎22階

☎ 06-6210-9596

●大阪の魅力の一つは「食」

大阪は、江戸時代に「天下の台所」と呼ばれ、全国各地から様々な人やモノが行き交うことで多様な食文化が栄え、以来、大阪の魅力の一つとして豊かな「食文化」は欠かせないものとなっています。大阪では、その食文化を支える都市農業のメリットを生かした高収益型の農業が営まれています。



○泉州水なす

●880万人の大消費地を背景に『力強い大阪農業』を！

大消費地を抱えるメリットを最大限に活かした収益性の高い農業経営を目指して、近年多くの就農希望者が大阪府で農業をスタートしています。「力強い大阪農業」の実現をめざし、新規就農者の確保・育成を行っています。

◆大阪府の農業

大阪農業は新鮮で安全安心な農産物を消費者に提供するとともに、良好な都市環境の創造、農業体験を通じた健康づくり等、多様な公益的機能を有しています。

●大阪農業の特徴

○都市部という立地を活かした施設園芸など集約的な農業経営が展開されています。

○収穫量の全国順位が1位の“きくな”を始めとした軟弱野菜の栽培が広く行われています。また全国順位3位の“いちじく”や同7位の“ぶどう”など果樹の生産も盛んで、全国有数の産地となっています。

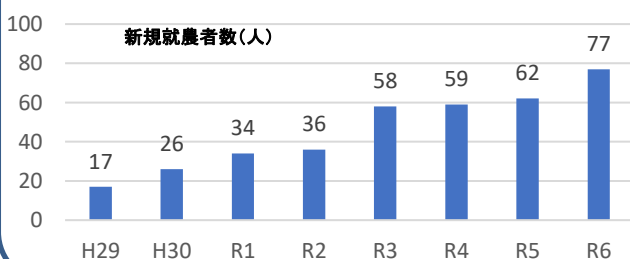
○府内で生産された農産物は“大阪産(もん)”として統一のロゴマークでPRされています。

大阪産(もん)統一ロゴマーク→  大阪産®

○府内には多数の直売所があり、新規就農者の多くが近隣の直売所で販売するほか、自ら営業を行って飲食店と契約し、販路を拡大している方もいます。

府民880万人を誇る大消費地での消費者ニーズは非常に高く、
まだまだ販路開拓のチャンスがあります。

◆先輩就農者の状況



＜新規参入者数の推移＞

- ・平成29年度～令和6年度にかけて、計369名が新規参入し、農業を開始
- ・多様な経営体の確保・育成を市町村等と連携して推進

◆就農相談

●大阪農業つなぐセンター（大阪府就農・企業参入相談窓口）

大阪府では就農に向けた各種相談を受け付けるワンストップ窓口として「大阪農業つなぐセンター」を開設しています。

「農業を始めたいがどうすればよいか」「企業で農業参入したい」等の幅広い相談に対応しています。

事前に、下記お問い合わせ先へご予約をお願いします。

○面談日

平日の10:00～12:15、13:00～17:00

（1面談あたり約1時間）

※必ず1週間以上前に日時を予約してください。

大阪農業つなぐセンター
はこちらから→



◆就農研修制度

（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校（大阪農大）

総合課程

学業期間：2年間 募集定員：20名

○幅広い視野から農業を考え、時代の変化に応じた技術力と判断力、応用力を身につけた農業者及び農業技術者を養成します。

○WEB講義を活用し、効率よく勉強して自分時間も充実！

○ハウス建設実習や農業機械実習など、農業に必要な実習が盛りだくさん！

○2年次は自分に合った3つのコースから選択。就農、就職をめざします！

※学生募集要項はこちら <https://www.knsk-osaka.jp/noudai/nyugaku/gakuseiboshuyoko.html>

短期実践課程

学業期間：1年間 募集定員：野菜：25名、果樹：20名

○就農に意欲的な方、農業法人等の職員を対象とし、1年制で働きながらでも学びやすい教育体制を整えています。

○週1回の実習で栽培技術を学びます。農業機械も操作できます。

○講義はWEB（オンデマンド）により、いつでも、どこでも学べるようにしています。

○講義・実習だけでなく、就農相談や資格取得など、就農に向けた支援も行います。

※学生募集案内はこちら

<https://www.knsk-osaka.jp/nourin/news/2025102100036>

大阪産(もん)スタートアカデミー

○独立就農をめざす新規就農希望者が、週末を中心に、地域の主力農業者から直接指導を受ける実践研修や、外部講師等による座学研修を受ける品目特化型の研修プログラム

○関係機関と連携し、研修修了者の農地の確保など就農に向けた支援を実施

○令和7年度は「水なす+きくな」「いちご」「有機農産物」の3つのアカデミーを15名が受講

・このほか、府内には独自の研修を行っている市町村やJAもあります。

◆補助事業の概要

新規就農者育成総合対策(経営開始資金、就農準備資金、経営発展支援事業)、青年等就農資金を活用できます。（※要件有り）

【お問合せ先】大阪府環境農林水産部農政室推進課経営強化グループ
(大阪農業つなぐセンター) ☎06-6210-9596

兵庫県

兵庫県農林水産部

農業経営課

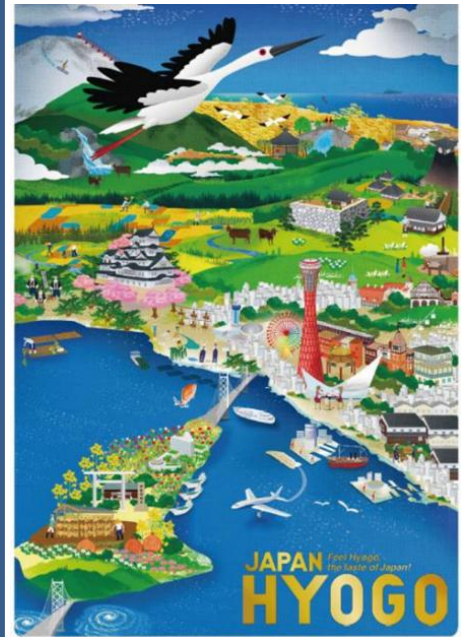
〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1

☎078-341-7711 (代表)

兵庫県は「日本の縮図」ともいわれるように、多様な自然環境を有しています。文化的・歴史的に形成された5つの地域「五国」（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）から成り、それぞれの地域で特色ある農業が展開されています。

ひょうご就農支援センターでは、就農を希望される方に対し、まず丁寧なヒアリングを行います。そのうえで、インターンシップなどを活用した農業体験へとつなげていきます。次は、あなたの夢や思いをお聞かせください。農業という新たな一歩を踏み出すために——ひょうご就農支援センターがそのスタートを全力でサポートします。

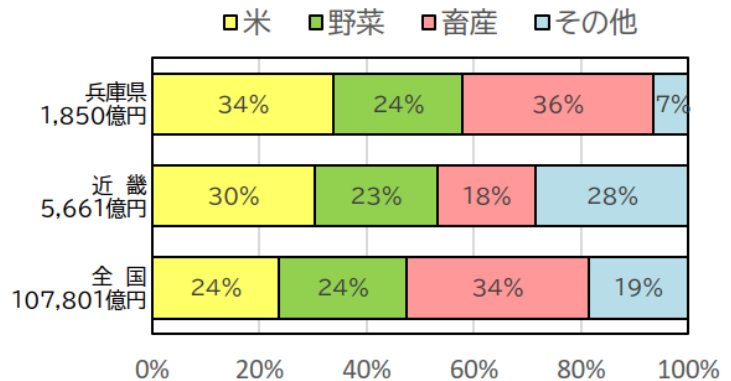


◆兵庫県の農業

兵庫県では、生産量が全国上位を占める農産物が多数あります。

主なものには、山田錦（酒米）（全国1位）、丹波黒（黒大豆）（全国1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーションなどが挙げられます。また、全国的に有名なブランドとして、神戸ビーフも広く知られています。地域によって特色が異なり、例えば淡路地域のように農業が盛んな地域もあれば、神戸・阪神地域のように消費地としての側面を持つ地域もあります。

農業産出額の構成比（令和6年）



出典：令和6年生産農業所得統計（確報）

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 令和6年度 282名（うち新規参入224名）
- ②主な作目 野菜での就農が半数以上を占めています
- ③地域活動 多くの新規就農者が農業青年クラブに参加し、技術研鑽、情報交換、仲間づくり、消費者との地域交流など、さまざまな活動に取り組んでいます
- ④農地取得 地域の親方農家からの紹介による農地の貸借が多く見られます。また、農地中間管理機構や各地域の農業委員会でも相談を受け付けています

◆就農相談会（県内開催）

事前予約制（詳しくはHPをご覧ください）

名称	日程	場所
就農希望者向けセミナー・相談会	令和8年6月21日（日）	神戸国際会館（神戸市）

◆就農相談会（都市圏開催）

詳しくはイベントHPをご覧ください

名称	日程	場所
新・農業人フェア	令和8年9月13日（日）	グランキューブ大阪

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就農相談を受け付けています。

◆就農研修制度・補助事業の概要

活用段階	事業・制度名	内容	問い合わせ先
基礎研修・体験	農業入門講座in駅前	農業の基礎知識を学べる講座（年4期×各6回）	就農支援センター
	農業インターンシップ研修	指導農家の下での就農体験（1日～15日）	就農支援センター
	就農チャレンジ研修	就農の準備や農業の基礎的なことを学ぶためのテーマ別講座（年10講座×各1回）	農業大学校
本格研修	兵庫楽農生活センター「就農コース」	ビニールハウスと露地ほ場を利用した野菜の栽培実習（1年間）	楽農生活センター
	新規就農者等育成研修（実践研修）	研修生自らが栽培計画を作成し、ビニールハウス2棟での農作物の栽培実習（1年間）	農業大学校
	就農準備資金	研修期間中の研修生への資金助成（165万円/年×最長2年）	県農業経営課
就農	経営開始資金	新たに経営を開始する認定新規就農者への資金助成（最大165万円/年×最長3年）	各市町
	農業施設貸与事業	JA等が園芸施設等を整備し、認定新規就農者にリースして初期投資を軽減する取組を支援（上限2,500万円・補助率1/2）	各JA
	経営発展支援事業	新たに経営を開始する認定新規就農者に対し、就農後の経営発展のための機械・施設等の導入を支援（上限750万円・補助率3/4）	各市町
	ひょうごの農トライル・担い手定着応援事業（新規就農者の育成・定着支援）	親方が、就農間もない新規就農者に指導助言を行う研修制度（1日～15日）	各農業改良普及センター
	農業後継者経営発展事業（親元新規就農者早期経営安定支援）	親元新規就農者の就農直後に必要な整備を支援（上限150万円・補助率1/2）	就農支援センター

補助事業には要件や審査がありますので、詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

最新情報はホームページを
チェック！

ワンストップ窓口
ひょうご就農支援センター



【お問い合わせ先】 始めてのご相談から具体的な就農準備まで、気軽にお電話を！

県農業経営課 ☎078-362-3406

ひょうご就農支援センター ☎078-391-1222

県農業大学校 ☎0790-47-2445

兵庫楽農生活センター ☎078-965-2047

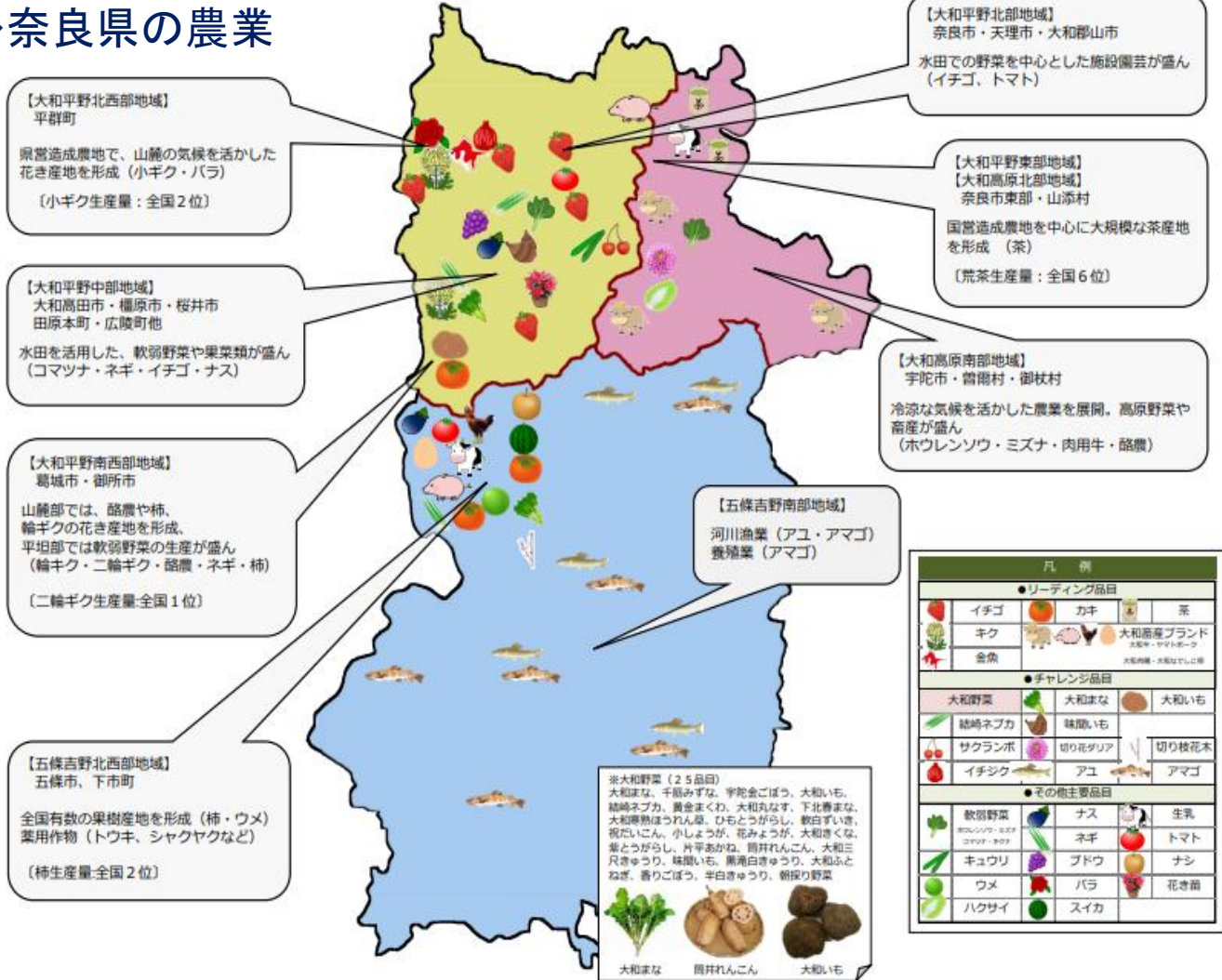
奈良県

奈良県食農部
担い手・農地マネジメント課
〒630-8501
奈良県奈良市登大路町30
☎0742-27-7617(直通)

奈良県では、恵まれた気象条件や高い生産能力を活かして、古くから農業が発達してきました。現在は、京阪神大消費地への至近性を活かし、多品目少量生産ながら、高度な栽培技術を駆使した生産性の高い多彩な農業を展開しています。

次代を担う新規就農者の確保・育成に向け、当県では、令和4年度から農業経営・就農支援センターを設けて、就農相談や各種支援を行っています。

◆奈良県の農業



◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 令和6年度 55名 (うち新規参入30名)。
- ②品 目 近年、施設野菜 (イチゴ、軟弱野菜) が多い状況です。
- ③就農方法 なら食と農の魅力創造国際大学校や県農業新規参入者支援事業研修等で研修を受けて就農されています。
- ④農地取得 就農認定予定者に地域の農林 (農業) 振興事務所、農地中間管理機構 (サポセン) が中心になって支援しています。

◆就農相談

総合窓口（県外の方や就農希望する市町村が決まっていない方）

機関名	所在地	電話番号
奈良県食農部 担い手・農地マネジメント課	奈良市登大路町30 (県庁分庁舎5F)	0742-27-7617
一般社団法人 奈良県農業会議	奈良市登大路町30 (県庁分庁舎5F)	0742-27-7419



サテライト窓口（就農希望する市町村が決まっている方）

機関名	所在地	電話番号	担当している市町村
奈良県北部農業振興事務所 (農業振興課)	大和郡山市満願寺町60-1 (郡山総合庁舎3F)	0743-51-0373	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町
奈良県中部農林振興事務所 (農業振興課)	橿原市常盤町605番地の5 (橿原総合庁舎2F)	0744-48-3081	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、香芝市、葛城市、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
奈良県東部農林振興事務所 (農業振興課)	宇陀市榛原三宮寺125 (大和野菜研究センター内)	0745-82-3248	宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村
奈良県南部農林振興事務所 (農業振興課)	五條市西吉野町湯塩1345 (果樹・薬草研究センター内)	0747-24-0131	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、上北山村、下北山村、川上村、東吉野村

◆就農研修制度

なら食と農の魅力創造国際大学校（通称NAFIC）等で、生産から販売までの幅広い知識と実践力を身につけるための研修を実施しています。



NAFICホームページ

種類	研修期間	定員	内容
アグリマネジメント学科	2年	20人	1人1ほ場による実習や先進農家の下での長期実習、経営やマーケティング等幅広い知識と実践力の習得により、高度な農業技術があり、農業経営のセンスに優れた農の担い手を育成する。
アグリスタートアップ研修	23日	10人	野菜等に関する講義とほ場における実習を実施し、販売を目的とした農業を目指す人を育成する。
農業新規参入者支援事業研修	1年3か月	4人	営農開始に必要な農業経営の基礎的能力を身につけ、参入地域や作目等を明確にする。その後1年間、先進農家の下での実習を通じ、新規就農者を育成する。

◆補助事業の概要

新規就農者育成総合対策（就農準備資金・経営開始資金、経営発展支援事業）や青年等就農資金等を活用できます。いずれも要件や審査がありますので、詳しくは上記の就農相談窓口へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

奈良県 食農部 担い手・農地マネジメント課
担い手育成・支援係 ☎0742-27-7617



奈良県農業経営・就農支援センター

和歌山県

和歌山県農林水産部
農業生産局経営支援課
〒640-8585
和歌山県和歌山市小松原通1-1
☎073-432-4111(代表)

和歌山県は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、果樹を中心に野菜、花き等多くの農産物を生産する農業県です。近年は、自然に囲まれた環境で仕事ができる農業に魅力を感じ、実際に自分でやってみたいという方が幅広い世代で増えています。



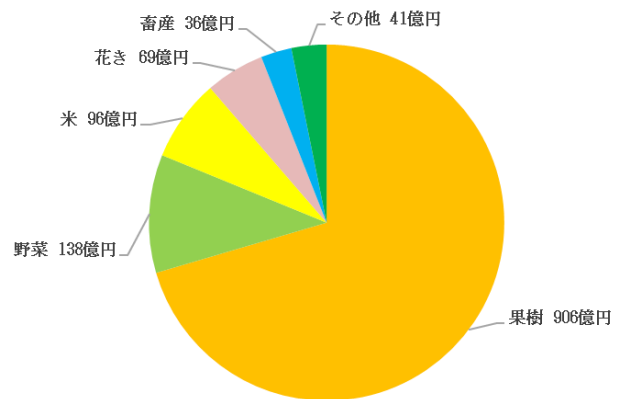
県では、農業をやりたいという様々な要望にお応えして、就農相談や農作物の生産技術を身につける就農研修、就農支援事業の実施等就農前後のサポートを行っています。

◆和歌山県の農業

和歌山県の農業産出額の構成は全国・近畿とは大きく異なっており、果実の構成比が70%と半分以上を占めています。果樹（みかん、うめ、かき、もも）、野菜（えんどう、ししとう）、花き（スターチス）などが基幹品目で、全国でも有数の産地を形成しています。近年では、新規就農者の方で、イチゴやトマトの施設栽培に取り組む事例も増えています。

和歌山県は変化に富む地形と気候の中で、それぞれの地域に適した農作物が生産されています。そのため、どの地域に就農するかで作る作物が制限され、逆に何を作るかで就農地が概ね決まります。情報収集したり、就農相談に訪れたりしながら、どのような農業を目指すのかを考え、自らの農業ビジョンを描いて下さい。

令和6年 農業産出額（1,286億円）



◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 令和6年度 147名（うち新規参入72名）
- ②品目 果樹栽培が多いのが特徴です。
- ③地域活動 新規就農者グループに参加したり、集落の祭りや自治会活動の担い手として活動したり、自らの経験を生かして活躍されています。
- ④農地取得 地域の農業者やJAからの紹介による農地の貸借が多いのが実態です。農地中間管理機構や各地域の農業委員会でも相談を受け付けています。

◆就農相談会（県内開催）

いずれも事前予約制（詳しくはHPをご覧ください）

名称	日時	場所
AGRIわかやま就農相談フェア	令和8年 7月 4日（土）	和歌山県JAビル1階（和歌山市）
AGRIわかやま就農相談フェア	令和8年11月29日（日）	和歌山県JAビル1階（和歌山市）
AGRIわかやま就農相談フェア	令和9年 2月13日（土）	和歌山県JAビル1階（和歌山市）

◆就農相談会（都市圏開催）

詳しくは各イベントHPをご覧ください

名称	日時	場所
マイナビ農林水産FEST	令和8年 7月25日（土）	マイドームおおさか2階 展示ホールD

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就農相談を受け付けています。

◆就農研修制度

（受講料無料・実費負担のみ）

開催場所：和歌山県就農支援センター（和歌山県御坊市）

研修名	研修日数・期間	予定定員	申込締切日
農業体験研修	1日/毎月1回	5名/1回	研修日の10日前まで
ウィークエンド農業塾	全10日間/8～11月	15名	令和8年7月16日(木)
技術習得研修	全25日間/10～2月	10名	令和8年8月26日(水)

◆補助事業の概要

就農準備資金、経営開始資金、雇用就農資金および青年等就農資金等の事業を活用できます。

いずれも要件や審査がありますので、詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

最新情報はホームページをチェック！

ワンストップ窓口
和歌山県
就農支援センター



和歌山県新規就農支援サイト
「AGRI-WAKAYAMA
～あぐりわかやま～」



【お問い合わせ先】

始めてのご相談から具体的な就農準備まで、気軽にお電話を！

県経営支援課

☎073-441-2932 県農林大学校農学部 ☎0736-22-2203

県就農支援センター

☎0738-23-3488（一社）県農業会議 ☎073-432-6114

（公財）県農業公社

☎073-432-6115

鳥取県

鳥取県農業経営・就農支援センター
(事務局:鳥取県経営支援課)
〒680-8570
鳥取県鳥取市東町1丁目220
☎0857-26-7262

青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々。豊かな自然に囲まれた鳥取県では、特産の二十世紀梨をはじめ、特色ある数々の農産物が生産されています。

このような環境の中、鳥取県では、農業を始めようとする方へ向けた相談対応や各種研修、就農時の機械・施設等の導入助成の実施など、様々な支援施策を用意し、関係者が一体となって、新たに農業を始める方への応援を行っています。

◆鳥取県の農業

鳥取県では、米、野菜、果実、畜産がバランスよく営まれ、平野部の水田地帯、海岸線に広がる砂丘地帯、中国地方最高峰の大山山麓の肥沃な黒ぼく地帯など、地域の特性を生かした農業が行われています。

近年では、野菜での新規就農者が増えており、スイカ、白ネギ、ブロッコリー、トマトなど、地域にあった品目が選ばれています。特に、白ネギは、県下で広く栽培されており、新規就農者が取り組みやすい品目となっています。

また、果樹では梨の新甘泉、柿の輝太郎などの新たなブランドの登場により、就農希望者の注目を浴びています。

鳥取県で1ターン就農したご夫婦



◆先輩就農者の状況

① 新規就農者数 令和7年度 63名 (うち独立・自営就農者26名)

② 先輩新規就農者の紹介

梨農家に憧れて1ターン就農したKさん



◆経営品目：梨

◆これから就農する人に一言

今、鳥取県の梨はほぼ毎年最高単価を更新し、儲かる農業になっています。120年以上の伝統があり、産地の強さを感じます。一緒に伝統を繋いでいきませんか。

◆その他の先輩新規就農者からの一言

経営開始すると想定外の資金が必要になります。できるだけ多く自己資金を確保しておきましょう。また、同じ作物を作る先輩農家や同世代の仲間を増やし、相談しあえる環境を作ることも大切です。

他産業から新たに農業参入したAさん



◆経営品目：白ねぎ

◆これから就農する人に一言

農業は1人では出来ません。身内のサポート、良き理解者、何よりも農家の仲間、先輩との繋がりは成功する為には必要です。必ず困った時には助けてくれます。農業を楽しみましょう。

◆今年度の就農相談会

鳥取県内での開催日程

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就農相談を受け付けています。オンライン相談も可能です。

会場	開催日
鳥取県立図書館 (鳥取市尚徳町101)	令和8年 4月19日(日)
	令和8年 7月19日(日)
	令和8年10月18日(日)
倉吉市立図書館 (倉吉市駄経寺町187-1)	令和8年 5月17日(日)
	令和8年 8月16日(日)
	令和8年11月15日(日)
米子市立図書館 (米子市中町8)	令和8年 6月21日(日)
	令和8年 9月20日(日)
	令和9年 2月14日(日)

◆就農研修制度

研修の種類	内容	実施予定時期等	研修実施主体	
アグリチャレンジ科	公共職業訓練として、4ヶ月間、農業の基礎知識のほか、実践に活かせる基本技術を習得	6・10・2月開講 (受講料無料)	鳥取県産業人材育成センター 倉吉校	
実践研修	スキルアップ研修 (長期研修)	主として農業後継者が、就農品目について、一連の管理作業を自力で行う「模擬経営」を1年間行う	4・10月開講 (受講料111,600円)	鳥取県立農業大学校
	スキルアップ研修 (短期研修)	県内の主要野菜4品目(白ネギ、ブロッコリー、スイカ、ミニトマト)について、植え付け準備から収穫までの一連の栽培管理作業を約4か月行う	開講時期は品目により異なる (受講料40,000円)	
	アグリスタート研修	自営就農を目指す者を研修生として受け入れ、先進農家等で実践農業技術、経営ノウハウを習得	2月開講 最長2年間	(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構

※その他市町村農業公社等が実施する農業研修もあります。

◆補助事業の概要

事業名	事業の内容	事業費・実施期間
就農準備資金・経営開始資金	【就農準備資金】就農予定時の年齢が原則50歳未満の者が、就農研修を受ける場合に資金を交付(最長2年間) 【経営開始資金】就農時原則50歳未満の者に対し、就農後の経営安定、定着促進のため資金を交付(就農後最長3年間)	165万円/年 (13.75万円/月)
就農応援交付金	就農初期に係る運転資金、基盤整備費等に活用できる交付金を交付(就農後最長3年間) ※経営開始資金の受給者は対象外	120万円/年(10万円/月)
就農条件整備事業	就農時に必要な農業機械・施設等を新規就農者が整備する場合や農協等がリースする場合に助成(1件当たり取得価格10万円以上) ※類似の国事業もあります (家畜の導入に限り上限1,200万円アップ)	事業費上限： 国事業と併せて1,600万円 補助率：1/2 期間：就農後5年以内
就農・くらしアドバイザー	IJUターン者・非農家出身者等の新規就農者に対し、農業経営、農村生活に対する身近な相談役としてアドバイザーを設置	就農後概ね1年以内
親元就農促進支援交付金	認定農業者等の後継者が親の経営に従事しながら、親元で行う就農研修に対して助成(2年以内)	120万円/年(10万円/月)

※農業法人等でのOJT研修への助成も行っています。(農の雇用ステップアップ支援事業)

【お問い合わせ先】

鳥取県農業経営・就農支援センター(事務局：鳥取県経営支援課)

☎0857-26-7262

鳥取県で農業を始めようと思ったら

鳥取県 就農

検索

徳島県

県立農林水産総合技術支援センター
経営推進課
〒770-8570
徳島県徳島市万代町1-1
☎088-621-2429(直通)

徳島県は、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、農産物の種類が豊富であり、「関西の台所」とも言われるほど、京阪神市場への一大供給産地としての地位を築いています。あなたもこの徳島で農業を職業としてがんばってみませんか？

農家出身者以外の方が農業を行うことは、栽培技術、農地の確保、生産物の販売、自然への対応や地域とのつながり、経営資金等いろいろな課題があります。

徳島県では、やる気のあるあなたの就農に関係するあらゆる相談に応じています。また、農業法人等で働いて農業に携わっていく方法もありますので、農業に興味があるあなた、ぜひ徳島県の相談窓口にご連絡ください。



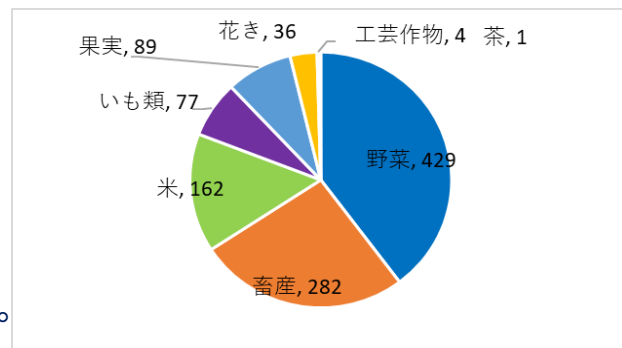
◆ 徳島県の農業

徳島県の農業産出額の構成は、部門別では野菜が39.3%を占めもっとも高く次いで畜産25.8%、米14.8%、果実8.2%、いも類7.1%の順となっています。いも類では、徳島県農産物を代表するトップブランドのサツマイモ「なると金時」、野菜では、全国一の生産量を誇る「春にんじん」、全国第2位の実産量を誇る「れんこん」などがあり、畜産では、地鶏肉生産量全国一を誇る高級地鶏「阿波尾鶏」が有名です。

果実では、全国シェアの98%を占める本県特産の「すだち」をはじめ、「ゆず」、「みかん」などの生産が盛んです。

徳島県の農業は、本県の持つ変化に富んだ地形や気象条件をうまく生かし、四季を通じて消費者ニーズに即応した新鮮な食材を京阪神地方を中心として安定的に供給しています。

農業産出額(R6) 1,092(億円)



◆ 先輩就農者の状況

- ① 就農者数 令和6年度 150名（うち新規参入者96名）
年齢別では、40歳未満が115名、40歳以上が35名
就業先別では、自営就農が63名、法人等への就業が87名
- ② 品目 新規就農者の約7割が野菜栽培に取り組んでいます。野菜の他は果樹、畜産、花き、水稻となっています。

◆ 就農相談

徳島県では、就農相談窓口を設置し、随時就農相談を受け付けています。

- ①総合窓口 県立農林水産総合技術支援センター経営推進課
☎088-621-2429
- ②受入窓口 徳島県農業経営・就農支援センター（県農業会議内）
☎088-678-5611

また、「新・農業人フェア」東京会場及び大阪会場に相談ブースを出展する予定です。

◆ 就農研修制度

「農の企業参入」促進事業

本県へ参入する企業の持続的な農業経営を支える人材等を育成するため、就農を希望する若者などを対象に先進経営体における実践的な技術研修を実施しています。

- ①応募資格 徳島県で就農する強い意欲をお持ちの64歳以下の方
- ②研修期間 2026年7月1日から2027年2月28日まで（予定）
（短期研修：最長3週間／長期研修：最長3か月）
- ③募集人数 50名程度（予定）
- ④募集期間 2026年6月から2027年1月（予定）

新規就農チューター支援制度

新規就農者は、地域で優れた農業経営を行っている指導農業士等から農業生産技術のみならず農地の確保や地域農業の慣習にいたるまで、マンツーマンで指導及び助言を受ける制度を活用できます。

◆ 補助事業の概要

- ・とくしま農山漁村未来投資事業 新規就農の際に必要な機械等の導入経費を支援
- ・就農準備資金 就農前の研修段階において最長2年間、就農の準備に要する資金を交付
- ・経営開始資金 就農開始から最長3年間、早期の経営確立を支援する資金を交付
- ・経営発展支援事業 独立自営就農後の経営発展のため、機会・施設の導入等を支援
- ・青年等就農資金 就農直後の経営確立に向けた設備投資等の費用を無利子で貸し付け
- ・雇用就農資金 農業法人等が就農希望者を新たに雇用し、研修を行う場合に資金を交付

【お問い合わせ先】

県立農林水産総合技術支援センター経営推進課 ☎088-621-2429
徳島県農業経営・就農支援センター（県農業会議内）☎088-678-5611

徳島県で新たに農業を始めたい方は、徳島県新規就農者のための情報サイト「農の宝島！！とくしま」をチェック！

農の宝島とくしま

検索

<https://tokushima-shuno.jp/>



京都市

京都市
産業観光局 農林振興室
〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町488
☎075-222-3351

京都市は、市域面積の約4分の3を農地と森林が占め、古くから各地域の気候風土を生かした多様な農産物が生産されるなど、農業が盛んに行われてきました。市街地を囲む緑豊かな三山や、市街地内に多く残される農地は、京都市の自然環境を生かしたまちづくりに大きく貢献しており、山紫水明の都を形成する礎となっています。

◆京都市の農業

本市の農業算出額は、全体の約8割を野菜が占めています。その中でも販売数量が多い品目は、キャベツ、なす、ねぎです。さらに、伝統野菜（賀茂なす、えび芋、堀川ごぼう 他）や新京野菜※（京の黄真珠、みずき菜、京北子宝いも 他）など特色ある野菜も多く栽培されています。大消費地に近接する優位な立地条件を生かし、直売所等を通じて新鮮な農作物を販売することができます。

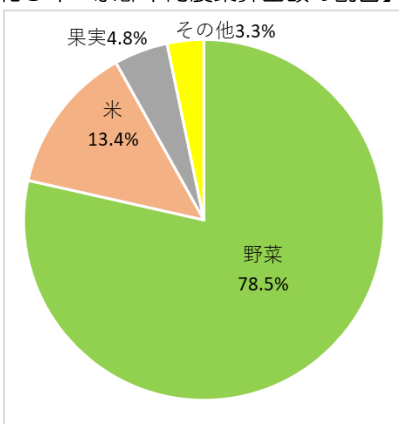
また、観光農園や体験農園などの農業経営も行われています。

※ 生産者や大学の協力を得て開発した、京都の気候風土にあった新しい野菜。

京都市における令和5年農業産出額と主な野菜の作付面積

全農産物の産出額：97億3千万円
野菜の産出額：76億4千万円

【令和5年 京都市内農業算出額の割合】



【令和5年 主な野菜の作付面積等】

品目	作付面積 ha	10a当たりの収量 kg	収穫量 t	販売数量 t
キャベツ	144.4	3,729	5,384	4,870
なす	68.5	5,372	3,680	2,967
ねぎ	153.7	2,196	3,376	2,976
トマト	55.6	4,613	2,565	2,035
きゅうり	47.2	3,922	1,851	1,295
ほうれんそう	119.8	1,294	1,550	1,413
だいこん	48.1	3,052	1,468	1,076
たけのこ	167.6	791	1,326	1,047
こまつな	79.1	1,201	950	891

出典：農林水産省「令和5年市町村別農業産出額」
京都市「令和5年度京都市農林統計資料」

◆先輩就農者の状況

①新規就農・就業者数31名

②主な営農類型 露地野菜

③農地取得方法 地域の農家の紹介による農地の貸借が多いです。地域の実態等については各農(林)業振興センターにお問合せください。
また、農地中間管理事業についても相談を受け付けています。

◆就農相談

窓口及び電話相談を随時受け付けております。本ページ下の【お問合せ先】までお気軽にご相談ください。

京都市はあなたの農業経営を全力でサポートします！

◆就農支援制度

経営開始資金を活用できるほか、京都市では、「新規就農サポーター」を設置しています。サポーターには、地域のベテラン農家に就任いただき、就農後の悩みや困りごとについて、無料でご相談いただけます。

◆京都市の農林業マップ

■ 京北農林業地域

- ・清流に恵まれており、主に水稲生産が行われている。
- ・気候にも恵まれており、京北子宝いもや京北米などの特産品が生産されている。

■ 北部農林業地域(越畑・嵯原)

- ・美しい棚田や茅葺き民家等が残り、「にほんの里100選」にも選定されている。
- ・都市農村交流施設等や美しい棚田を維持するための農道・水路の整備が進められ、観光農村による地域活性化を目指している。

■ 農業振興地域(水尾・静原・大原・大原野・勸修寺・向島等)

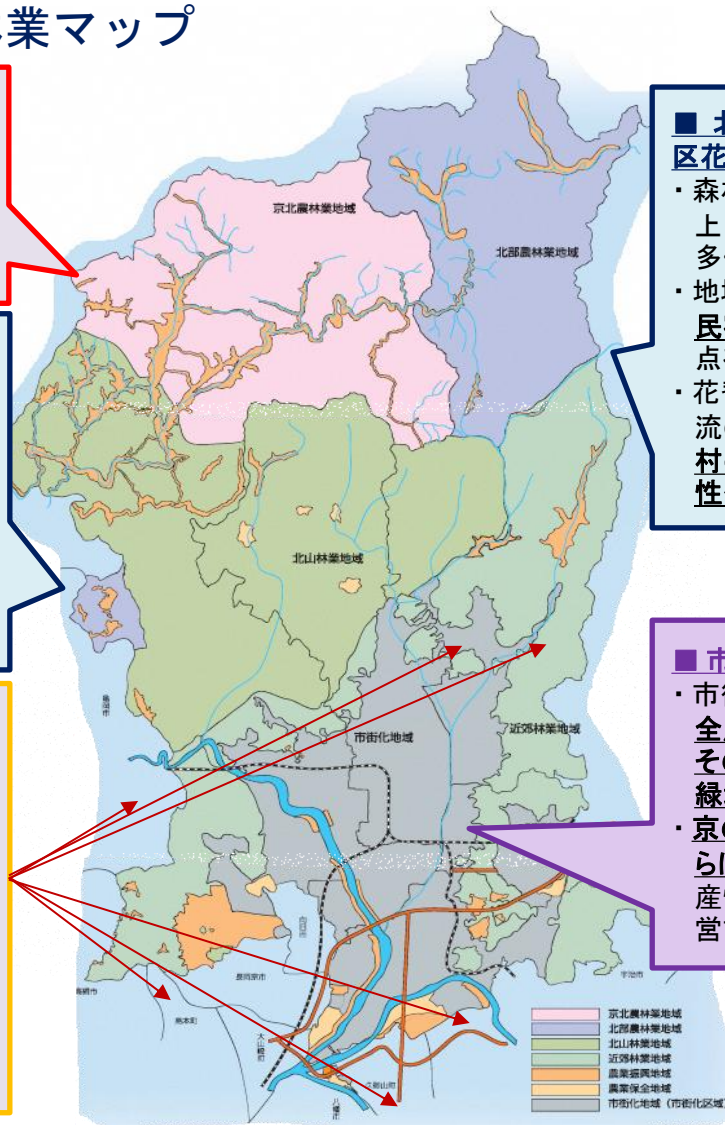
- ・農業振興地域を中心として、水稲、野菜、花き、果樹等多様な農業が展開され、農業基盤整備も積極的に進められている。
- ・体験農園や特産物育成等、地域の農業資源を活かした特色ある地域づくりが進められている。

■ 北部農林業地域(左京区花脊以北)

- ・森林など豊かな自然と松上げなど伝統文化が数多く残っている。
- ・地域資源をいかした農家民宿やキャンプ場などが点在している。
- ・花脊にある山村都市交流の森を中心に、都市農村の交流による地域活性化を目指している。

■ 市街化地域

- ・市街化区域農地は、市内全農地の約2割強を占め、その内の約88%が生産緑地に指定されている。
- ・京の伝統野菜など昔ながらに野菜作が盛んで、生産性の高い集約農業が営まれる。



◆お問合せ先

農林振興室 ☎075-222-3351	
北部農業振興センター ☎075-366-2010	(所管区域: 北区、左京区(花脊、広河原、久多地域を除く)、上京区、中京区、右京区(京北地域を除く))
南部農業振興センター ☎075-585-3202	(所管地域: 下京区、南区、伏見区、山科区、東山区)
南部農業振興センター-洛西分室 ☎075-323-7321	(所管区域: 西京区)
京北・左京山間部農林業振興センター ☎075-852-1817	(所管区域: 右京区京北地域、左京区花脊、広河原、久多地域)

神戸市

神戸市 農業委員会事務局
〒651-0087
兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12-2F
☎078-984-0387(直通)

神戸市は一年を通じて晴天が多く温暖な瀬戸内式気候のなか、西北神に広がる豊かな農業地域を活かして、ほうれん草や小松菜をはじめとする軟弱野菜やキャベツなどの野菜、新鮮・完熟が特徴のいちじくや梨などのフルーツ、灘五郷のお酒の原料となる山田錦、美しい街並みを彩る花、世界に名を馳せる神戸ビーフなど、多彩な農産物が生産される「食」の源泉となっています。



神戸市では、市内で農業に取り組みたい方からの相談を随時受け付けています。

◆神戸市の農業

神戸市の農業地域は、消費地に近いことから、多様な農産物を直接届けることが可能です。就農されるまでに、情報収集を行いながら、どのような農産物を生産して販売するかなど、ご自身の目指すべき農業経営をしっかりと描いてください。

分類	品目
野菜	キャベツ、ブロッコリー、ほうれん草、小松菜、ミズナ、ネギ、スイートコーン、トマト、イチゴ等
米	キヌヒカリ、コシヒカリ、ヒノヒカリ、山田錦、きぬむすめ
果樹	梨、いちじく、ぶどう、桃等
畜産	肉牛、酪農、豚
花	新鉄砲ユリ、花壇苗、トルコキキョウ、チューリップ、カーネーション等
加工品	神戸ワイン、北神みそ、いちじくジャム

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 令和6年度 41名
- ②品目 野菜栽培（施設7割、露地3割）が多く、直売所出荷が中心。品目は、軟弱野菜、イチゴ、トマト等が多い。
- ③農地取得 研修先等からの紹介による農地の貸借が多い。

◆就農相談

神戸市では、随時就農相談を受け付けています。
神戸市での就農をお考えの方は、下記「お問い合わせ先」にお電話ください。

◆サポートチーム

兵庫県神戸農業改良普及センター、神戸市農業委員会、JA等が就農をサポートいたします。

◆農地バンク・空き家バンク

農地・空き家の情報を提供をしています。

◆補助事業の活用

新規就農者育成総合対策（就農準備資金・経営開始資金・経営発展支援事業）を活用できます。

◆神戸市の農業地域 (西区・北区)



【お問い合わせ先】

神戸市 農業委員会事務局
神戸市中央区御幸通6丁目1番12号
三宮ビル東館2階
電話: 078-984-0387

【ホームページ】

神戸市の農業の特徴や
新規就農者向けページ等を
掲載しています。

神戸市の農漁業

検索



堺市

堺市産業振興局農政部農水産課
〒590-0078
大阪府堺市堺区南瓦町3-1
☎072-233-1101(代表)

堺市は大阪府南部に位置し、人口・面積ともに府内第2位の都市です。市街地周辺に多くの農地が残り、軟弱野菜の施設栽培を中心に、野菜や畜産など消費地に近い立地を生かした多様な農業経営が行われ、農業産出額は府内1位を誇ります。

堺市では、農業に関心のある方を対象に就農セミナーを開催し、農業の基礎知識や先輩就農者の体験談などを紹介しています。また、農業技術・経営指導等に実績のある相談員が新規就農者支援相談窓口を設置し、技術・経営の両面から段階的な支援を実施しています。さらに、新規就農者や定年帰農者に対して、就農後も農業塾などの研修会を開催し技術支援を行っています

◆堺市の農業

平地では、主に野菜や水稲、南部の山間地では温州みかんが生産されています。水稲は自家消費が中心です。野菜は軟弱野菜の施設栽培が中心で、コマツナ、シュンギク、ハウレンソウなどが栽培されています。また、施設ではトマトなどの果菜類の生産も盛んです。露地ではネギ、タマネギ、キャベツ、ブロッコリーなど様々な品目が栽培されています。果樹は温州みかんが生産され、みかん狩り園など観光農業にも力を入れています。畜産は酪農が中心に行われています。

◆新規就農相談窓口

年度	人数
R2	5 (うち法人1)
R3	11 (うち法人2)
R4	8 (うち法人2)
R5	8 (うち法人3)
R6	8 (うち法人3)
R7	10 (うち法人3)

相談窓口からの新規就農者数

面談をおこない、堺市内での本格的な就農に向けて、農業技術がない方には技術習得の場を紹介するなどします。また技術はあるが農地がない方には農地を紹介し、農地の利用権を取得する手続きを行います。

就農後も補助金による農業用機械・設備の整備や、技術・経営の相談をお受けします。

◆補助事業等の概要

新規就農者育成総合対策（旧：農業次世代人材投資事業）、青年等就農資金のほか、新規就農者が行う機械・施設の整備を支援する堺ファーマー支援事業（新規就農者支援事業）があります。

堺市産業振興局農政部農水産課

【お問い合わせ先】

電話 072-228-6971 (直)
メール nosui@city.sakai.lg.jp

農業を始めたい方へ(堺市)

「農業を始める」ということは、自営業主として開業・独立することであり、それまでに越えなければならないハードルがいくつもあります。

これらを着実にひとつひとつ解決することを目的に「堺市新規就農者支援相談窓口」を設置しています。

同相談窓口では、農業技術・経営などの指導実績のある相談員が、本市で本格的な就農をめざす方に対して、面接等により疑問・問題にお答えし、相談内容に応じて就農に向けた段階的な支援をします。

堺市新規就農者支援相談窓口

窓口での主な支援内容

堺で本格的に農業を始めたい！

『堺市新規就農者支援相談窓口』で相談

農業技術がある

農業技術がない

技術習得の場を紹介

『堺市新規就農者支援相談窓口』で再相談

就農する農地がある

就農する農地がない

農地を探す
(農業委員会事務局HPで紹介)

農地を借りる
(利用権設定)

農業経営の開始！

技術・経営の段階的な相談

補助金等の紹介



関西広域連合 就農促進サイト
<http://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisijimu/nosui/1183.html>

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

